

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870104308
法人名	有限会社メディケアサポート
事業所名	グループホームわかば（2階）
所在地	愛媛県松山市若葉町7-6
自己評価作成日	平成24年10月1日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成24年10月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

・毎月、入居者の様子を職員が手紙に書いて送付している。変化があればご家族様へ連絡、報告を行い、お互いが安心して暮らせるように努めています。 ・ラジオ体操や竹踏み体操など、身体を動かして頂き、身体機能の維持を図っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

●法人代表者の交代があり、代表者は職員一人ひとりと面談をして「なんでも言ってほしい」と、いつでも意見を受け付けることを職員に伝えられた。代表者はユニットを回り、利用者と昼食をともにする機会を作っておられ、様子を見に来られている。「行事係」の職員は、年に数回「ホーム喫茶」を行い、利用者がジャズを聞きながら、好きな飲み物を楽しむような機会を作っておられる。職員が作ったメニュー表を見ながら好きな飲み物を選んだり、本格的な和菓子も用意されていて、利用者はとても喜ばれるようだ。6月には働きやすい職場作りに向けて、職員一人ひとりが「自己チェック表」で点検をされた。その結果から、職員の申し送り時には、はじめに「よろしくお願ひしますと笑顔で挨拶すること」を始められ、ケアマネジャーは、「職員に絡りが出て、メリハリが付いた」と話されていた。事業所では、外部講師を招き、職員研修を行っておられる

V. サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2, 20)		1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに ○ 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている ○ 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が ○ 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が ○ 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が ○ 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I.理念に基づく運営

II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

IV.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含まれます。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含まれます。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含まれます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 グループホームわかば

(ユニット名) 2階

記入者(管理者)

氏 名 楠 吉文

評価完了日 2012年 10 月 1 日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
I. 理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価)	
			各階(フロア)の目につく場所に掲示し、実践できるように意識している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(外部評価)	
			事業所開設時に作成した、「人生の継続性を大切にし、自分が自分として生きてゆく」という理念は、パンフレットに明示され、又、居間にも掲げておられる。3階ユニットリーダーは、利用者の希望や得意なことが行えるよう支援して、個々の「生きがいに繋がりたい」と取り組みをすすめておられる。管理者は、今後「食べることを大切にしたい支援に組みたい」と考えておられ、口腔体操の一つとして、「今月の歌」を決める等して、楽しく歌を歌うような時間を作りたいと話しておられた。	事業所理念は、前回の評価実施後、職員で話し合い案を作っておられ、運営推進会議等でも発表されているが、法人代表者、管理者、又、職員の交代もあり、事業所では今後さらに事業所理念を検討していくことを考えておられる。事業所理念は、職員がケアに取り組む上での拠り所となるものでもあり、「地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念」の作成に向けて、早急に取り組まれてほしい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価)	
			2ヶ月に一回の運営推進会議に地域の方(町内会長・民生委員等)に参加して頂き、施設の近況や皆様の意見に答え、ご理解して頂けるよう努力している。	事業所と地域との関係も年々深まっており、ネットワーク等も活かして、今後はさらに、事業所の専門性や有用性を地域に還元できるような取り組み等もすすめていかれてほしい。又、利用者と地域資源をつなげるような取り組み等にも工夫して、利用者の生活の拡がりを支援していかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 2ヶ月に一回の運営推進会議にて、入居者の状況や施設行事などの報告を行い、参加者からは地域の行事を知らせて頂いたり、ご意見を頂き、活かせるようにしている。	
			(外部評価) 地域に向けて事業所の活動を報告する「地域便り」で、会議の案内をされたり、又、会議の様子の写真等を載せておられる。会議には、地域から町内会長や副会長、会計や相談役、その他、地域の役をしている方の参加があり、又、近隣の方も参加してくださっている。地域の方は、公園のお花がきれいなことや、近くの幼稚園で運動会の練習をしていること等を教えてくださり、利用者が外出するきっかけを作ってくださっている。ご家族には、便りや文書で会議の案内をされたり、来訪時にお誘いしておられるが、現在は1～2名の方の参加に止まっている。今後は、会議の内容等を利用者やご家族・職員にも報告して、参加につなげていかれてほしい。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 2ヶ月に一回の運営推進会議には必ず参加して頂いている事のほか、ボランティアに来て頂いたり、日頃から電話や出向いて連絡をとり、コミュニケーションに取り組んでいる。	
			(外部評価) 運営推進会議には、市の担当者や地域包括支援センターの方が参加されて、事業所の活動について感想を話してくださったり、感染症対策等についてアドバイスをくださっている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 夜間以外は、玄関の施錠をせず、安全に注意しながら見守りできる様に取り組んでいる。	
			(外部評価) 事業所は、建物の2・3階部分に位置しており、利用者は主にエレベーターを利用して上がり降りされている。エレベーターのボタンの上に厚紙でカバーして見えなくされていて、利用者が上がり降りする時には職員が付き添っておられる。利用者が、ベッドから足を下ろすとセンサーが作動して、音が鳴るようになっていて、職員がトイレに誘導されている。又、自室のポータブルトイレのふたに鈴を付けて、鈴の音で職員が駆けつけ、介助されている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)	
			外部講師による社内研修を行い、2012年9月13日の研修で高齢者虐待について研修を行った。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)	
			外部講師による社内研修を行い、2011年1月13日の研修で利用者の権利と尊厳の理解について研修を行った。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)	
			十分な説明を行い、改正時には説明とともに同意書を頂き、ご理解の上で実施をしている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)	
			地域の方、行政、包括等の参加による会議の中、ご家族出席も必ず呼びかけ、できるだけの参加をして頂くとともに、ご意見・ご感想等を頂き運営に反映している。	
			(外部評価)	
			法人代表者の交代は、ご家族に書面で知らせ、管理者の交代は、ご家族の来訪があるごとに顔を合わせてあいさつをされた。毎月、ユニットごとの事業所便りと、利用者個々の担当職員がご本人の様子の手紙を書き、写真も同封して報告されている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 主任会・各階フロアミーティングを行い、職員の意見を聞き、反映できるよう話し合えるようにしている。 (外部評価) 法人代表者の交代があり、代表者は職員一人ひとりと面談をして「なんでも言ってほしい」と、いつでも意見を受け付けることを職員に伝えられた。代表者はユニットを回り、利用者と昼食をともにする機会を作っておられ、様子を見に来られている。「行事係」の職員は、年に数回「ホーム喫茶」を行い、利用者がジャズを聞きながら好きな飲み物を楽しむような機会を作っておられる。職員が作ったメニュー表を見ながら、好きな飲み物を選んだり、本格的な和菓子も用意されていて、利用者はとても喜ばれるようだ。6月には働きやすい職場作りに向けて、職員一人ひとりが「自己チェック表」で点検をされた。その結果から、職員の申し送り時には、はじめに「よろしくお願いしますと笑顔で挨拶すること」を始められ、ケアマネジャーは、「職員に締めが出て、メリハリが付いた」と話されていた。事業所では、外部講師を招き、職員研修を行っておられるが、時には職員が勉強したい研修内容も採り入れていかれてほしい。職員のさらなるスキルアップから、ケアの質向上を目指していかれてほしい。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 主任会・各階フロアミーティングに出席、さらに個人面談も実施、状況を把握し、職場環境・条件の整備に努めている。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 月に1回、外部講師による施設内職員研修及び事務所より研修の案内があれば、職員全員が見られるよう掲示してもらい、参加案内ができるようにしている。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) ケアマネ連絡会や民生委員等にデイサービスの休館日を会議場として活用して頂き、交流するよう機会を作り、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 入所前に訪問や面会し、情報・生活環境の情報を収集し、安心して生活して頂けるよう努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価)	
			事前調査を行い、サービスの利用を開始する前に、ご家族の話を聞くとともに、施設についても不安の無いよう十分な説明を行い関係作りに努めている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価)	
			事前調査による十分な説明により、支援のあり方について本人・家族がご理解されるように努める。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価)	
			家事など、それぞれの方が得意な分野を活かしながら生活をしていけるように援助している。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価)	
			連絡を密にとり、電話連絡・運営推進会議において、毎月利用者の現況報告書手紙等、利用者と家族を中心に職員が支えあっていける関係を築いている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価)	
			家具など自宅で使用していたものを持って来て頂き、使用するようし、家族だけでなく、近所の方、友人の方も面会に来ていただいている。	
			(外部評価)	
			仏壇や位牌等を持ち込んでおられる利用者も複数あり、職員からの提案でお盆には「送り火」を焚き、利用者は手を合わせられた。保育園の先生をしていた利用者には、行事時等にエレクトーンを弾いてもらうような機会を作っておられる。又、ご自宅の近所の方が訪ねて来てくださることもあり、居室でゆっくりお話ができるよう、職員はあいさつしたり、お茶を出す等して気配りをされている。入居してから仲のよい利用者の方ができたことを喜んでいる方もいる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 洗濯物や掃除など、出来ない方の分を得意な方に手伝っていただき、支えあった生活ができるようにしている。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) サービスの利用を終了しても、これまでの関係を大切にしてい、本人や家族の経過フォローをし、支援ができるように努めている。 何かあれば相談できるように努めている。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 普段の会話の中で聞き出し、希望を叶えられるようにしている。 本人の訴えが少ない方は、面会時など家族の方から話を聞き、把握できるように努めている。 (外部評価) ユニットによっては、新人職員が利用者個々の特徴や状態等を知ってから利用者にかかわれるように、ケアマネジャーが、個々の情報をまとめたシートを作っておられる。調査訪問時、利用者は、ご自分の幼少期やお若いころの仕事、趣味のことを笑顔で話してくださった。昼食時、トマトが嫌いの方には、代替えのものを用意されていた。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 事前調査を行い、入居時にフェイスシート・アセスメントを作成し、情報収集に努めている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 体力など急激に低下しないよう現状を把握し、生活できるよう気をつけている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価)	
			職員同士、ミーティングや連絡ノートに記入し、情報を伝え合い、カンファレンスにて家族も交えて話し合い、よりよいケアができるように作成している。	
			(外部評価)	
			介護計画は、半年ごとに見直しておられる。又、身体の状態の変化がある時には、随時見直しておられる。調査訪問時には、ご家族の訪問があり、ケアマネジャーは居室で介護計画について説明をされていた。入浴がお好きな利用者のご家族から、「夏だけでも入浴の回数を増やしてほしい」という要望があり、介護計画に挙げて、シャワー浴等も採り入れて2日に1回入浴できるよう、支援しているケースもある。	さらに、利用者の暮らし方の希望をもとにして、利用者個々の生活を広げていけるような計画作成にも、取り組んでいかれてはどうだろうか。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)	
			毎日の介護記録以外にも、連絡ノートや申し送り事項を記入できる用紙を使用し、情報を共有できるようにしている。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価)	
			ケアプランの見直し等、家族を含めたアセスメント・カンファレンスにより、その時々生まれるニーズに対応した柔軟な支援に取り組んでいる。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価)	
			消防署協力のもと、ホームの避難訓練を実施したり、地域との防災訓練に参加させて頂くなどし、地域資源との協働に努めている。 また、民生委員・ボランティア等による行事への協働にも努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価)	
			協力医療機関の往診を受けているが、入居前から通院されている病院がある方、家族と話し合い希望にそえるようにしている。	
			(外部評価)	
			隣接の協力医療機関に利用者の状態を報告されたり、相談しながら支援されており、持病のため食事制限のある方もいるが、食事量についても医師と相談して検討されている。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	(自己評価)	
			変化があれば報告・相談し、早めの対応ができるようにしている。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	(自己評価)	
			情報収集し、主治医や家族の方とも相談し、対応できるように努めている。また、面会に行くようにしている。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価)	
			家族の方と十分話し合い、今後の方針をしっかりと決め、取り組んでいる。	
			(外部評価)	
			入居時には、事業所の看取りの指針をもとに、ご家族等に説明をされている。現在は、ほとんどのご家族が「事業所で最期まで看取してほしい」と希望されている。遠くに住むご家族もいることから、利用者が重度化した場合には、ご家族と終末期の支援や亡くなった後のこと等についても話し合い、書面で同意を得るようにされている。数年前に事業所で看取った利用者のお宅に、お線香をあげに行かれたり、ご家族は、法人のデイサービスのカラオケレクリエーション時にボランティアで来られている。	さらに、重度化した場合や看取りの際の利用者の希望については、日々の会話の中から探ったり、折りをみて聞き取ったりされてはどうだろうか。得た情報を蓄積して、ご家族と話し合う際にも提示しながら、利用者がご本人らしい最期を送れるよう、支援につなげていかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 往診時に医師に対応について相談し、指示を仰ぐようにしている。 東村内科医院と医療連携契約を行っており、24時間体制で急変や事故発生時の備えはできている。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 年2回の避難訓練を実施している。 緊急連絡網を作成し、連絡体制を整えている。 緊急連絡網には町内会長と地区の民生委員の連絡先も入れさせてもらっている。 (外部評価) 職員は、小学校で行われた災害に関する講演会を聞きに行かれた。事業所では、火災を想定した避難訓練を年に2回行っておられる。11月の訓練は、夜間想定避難訓練を行われ、水消火器を使って消火訓練を体験された。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) それぞれの方にあった声かけや対応ができるよう、情報収集し気をつけながら対応している。 (外部評価) 接遇マナーの研修を行い、利用者への声かけや職員同士の言葉遣いについて、見直しの機会とされた。職員は、利用者の笑った顔がみられるように、時には冗談を言って、場を明るくできるよう心がけておられる。職員は、利用者が行なってくださったことに、「ありがとう」と感謝の言葉を伝えるようにされている。調理にかかわる仕事をされていた利用者の方は、普段もエプロンを着けて首にタオルをかけておられた。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) わかりやすい言葉を選び、声かけをしたり本人に選んでいただけよう選択肢を作り、声かけをするなどし、自己選択ができるよう働きかけている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、 一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのよ うに過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 起床・就寝時間や食事など本人の生活リズムが崩れないよう 気をつけながら、希望にそった生活をして頂けるよう支援し ている。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう に支援している	(自己評価) 美容室の方に来ていただいたり、近所の散髪屋に行き、髪 を整えたり、季節に合わせながらオシャレができるよう、家族 の方と連絡を取りながら服など準備できるようにしている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に 準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 日常の会話の中で、好きな物を聞き取り、献立を相談して決 めるよう心掛けている。食器洗いや調理も声かけし、手伝っ ていただくこともある。 (外部評価) 献立はユニットごとに別々で、より利用者の希望が採り入れられるよ うになっている。ユニットによっては、毎食、利用者の希望を一品は 採り入れておられ、調査訪問日の昼食は、利用者の希望で、ちらし ずしを作っておられた。職員は、介助の必要な利用者の隣で、利 用者と同じものを食べながらサポートしをされていた。食後は下膳 したり、テーブルを拭いたりしている利用者の様子がみられた。夏 はそうめん流しやスイカ割りをして楽しまれている。又、年末には地 域の方達の協力を得て餅つきを行い、利用者もお餅を丸め、お正 月のお餅の準備をされた。今後さらに、時々、普段の食事をご家族 も一緒に食べる等して、食事の内容や量等について、ご家族の要 望や希望等をお聞きしてみるような機会を作ってはどうか。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じ て確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣 に応じた支援をしている	(自己評価) 水分量を量り、脱水にならないよう気をつけている。 無理なく食べて頂けるよう、盛り付けの量をそれぞれの方に 合わせている。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、 一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔 ケアをしている	(自己評価) 自分で難しい方は、介助誘導し、口腔ケアをし、出来る方は 声かけをし、歯磨きをして頂くよう気をつけている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	
			排泄記録を記入し、排泄パターンを理解し、定期的にトイレに行けるよう誘導や声かけをしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(外部評価)	
			昼間はトイレで排泄ができるよう支援されており、夜間、歩行等が不安定な方には、居室にポータブルトイレを置き、「おむつにせずポータブルトイレで座って排泄」できるよう支援されている。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	
			入浴日を決めているが、本人の気分に合わせて入浴日以外の方も入っていただけるようにしている。 また、入浴日の方でも気分に合わせて別の日に入っていたけるようにしている。	
46		○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(外部評価)	
			冬至には柚子湯を楽しまれた。ユニットによっては、利用者個々に週2回入浴する曜日を決めて作った「入浴表」を脱衣所入り口に貼り、職員は、それを確認しながら支援されている。入浴は午後から夕食までの時間となっており、利用者からの「一番風呂」「最後でいい」「同性介助」等の希望に沿って支援されている。その日に入浴を嫌がるような場合には、日をずらして支援されている。入浴したことを忘れるような利用者には、入浴後に入浴したことを書いておけるよう支援されており、入浴したか職員に聞かれた時には、その記録をみながら一緒に確認されている。浴槽をまたぐことが難しい利用者には、1階のデイサービスにある機械浴槽を使用する場合もある。	以前からお風呂がお好きで温泉に通っていたような方もあり、利用者個々のこれまでの入浴の習慣や好み、希望、又、ご家族の要望等もお聞きしながら、支援のあり方等についても、利用者主体の入浴が支援できるよう、さらに工夫されてほしい。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	
			昼夜逆転にならない程度に、疲れた時にはお昼寝ができるように配慮している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 個人ファイルに薬局でもらっている薬情報を介護記録にもファイリングし、目を通し確認できるようにしている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 家事が出来る方には、職員と一緒に掃除機かけや洗濯物をたたんだり干したりしている。 また、好きな曲などを聞いてカラオケをしたり、一緒に歌うなど楽しめるようにしている。 嗜好品は個別に購入し、希望にそえるようにしている。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 希望に合った日には天気や気温に気をつけて、散歩や買い物等、外出できるように努めている。外食は、ご家族の協力を得て対応している。 畑の野菜の水やりや草抜きに行くことで、外出を勧めるようにしている。 大きな行事については、年間行事計画を作成し、入居者に参加して頂けるようにしている。 (外部評価) ユニットによっては個別の外出に力を入れて取り組まれており、介護計画にも採り入れて、仏壇のしきびを買いに出かけたり、買い物等に出かけられるよう支援されている。又、敷地内の畑での野菜作り等も積極的に行っておられ、今夏はナスが豊作で、食卓にもよく上ったようだ。職員は、「外出したい利用者も多く、出かけられるよう時間を作りたい」と話しておられた。又、「みなで出かけるような機会」も作りたいと考えておられる。利用者の思い出の場所や懐かしいところ、外食したり、知り合いを訪ねたりして、利用者の暮らしを拓けていけるような支援に工夫を重ねていかれてほしい。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 家族とも相談し、本人が管理されている方もいる。買い物と一緒にいったときには、金銭を扱い買い物をして頂いている。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) フロアの電話を使用して、いつでも電話できるようにしている。 手紙を読むことができない方には、職員が読むようにし、やり取りができるように支援を行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
			外からの光はカーテンを使用して調節し、季節を感じて頂けるような掲示物を作成し掲示している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(外部評価)	
			テーブルのご自分の席には、名前を大きく書いた紙を貼っている方もみられた。入浴がお好きな方は、ご自分が入浴する曜日を書いておられた。調査訪問時、2階ユニットでは、食事中、演歌を流しておられ、リズムを取りながら食事をしている利用者もみられた。3階ユニットでは、オルゴール風のメロディーを流しておられた。職員が掃除機等で掃除していると「手伝おうか」と言ってくださる利用者もあるようで、一緒に行うような時もある。テーブルで新聞を広げて読んでいる利用者もみられた。居間の神棚に毎朝手を合わせる利用者がおり、榊が枯れると知らせてくださる。共用空間、居室ともに床暖房を整備されている。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
			昔から使用していた家具を使用できるよう本人・家族と相談している。居室内の物の配置も変えたいとの要望があったときには、その都度対応している。お孫さん等から届いたハガキを大切に飾っている居室もみられた。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(外部評価)	
			居室の掃除は職員が行っておられ、シーツ交換は10日ごとに行うようになっている。居室で読書する方や壁に、お好きな俳優の写真や、ご家族と自宅近所の方の電話番号を貼っている方もみられた。ベッドに横になって、テレビで時代劇等を楽しまれる方もいる。	